

# 第3号 全国自立援助ホーム協議会 たより

編集者

新井 秀親 (夢舞台)

松木 良介 (経堂 憩いの家)

大橋 達也 (吾が家)

野原 知子 (マルコの家)

発行日：平成26年11月21日

## 第7回 全国自立援助ホーム長研修会・総会報告

### この号の内容

#### 1 ページ

第7回  
全国自立援助ホーム長  
研修会・総会報告

#### 2 ページ

女性スタッフ研修会報告

#### 3 ページ

ホーム長紹介

#### 4 ページ

全国大会開催県紹介  
連絡事項・ご案内

月日：平成26年4月21日（月）

会場：東京都 アルカディア市ヶ谷私学会館

次第：

開会宣言及びあいさつ（会長 星 俊彦氏）

行政説明

（厚生労働省雇用均等・児童家庭局家庭福祉課 家庭福祉課長 小野 太一氏）

シンポジウム 『自立援助ホームはどこに向かっていくべきなのか』  
～新規ホームの増加とニーズの多様化を直視して～

シンポジスト 星 俊彦氏（星の家）

屋代 通子氏（シーズ南平岸）

田村 崇 氏（鳥取スマイル）

コーディネーター 高橋 一正氏（ふくろうの家）

質疑応答

新規ホーム紹介 平成25年4月～平成26年4月協議会加入ホーム

### 第7回

全国自立援助ホーム長  
研修会・総会 報告

### 橋本 岳晴 氏 （三宿 憩いの家）

今回のホーム長研修では、たくさんの人（またはホーム）の、さまざまな思いを垣間  
見ることができ、とても有意義な時間を過ごすことができました。

ホーム長になって3年目で、まだまだの私は、今までのように子どもとの関わり合い  
だけを考えているわけにはいかない、と改めて思いました。ホーム長である以上、自分  
の考えや感覚だけではなく、共に働く職員の考えや、感覚もきちんと受け取り、尊重し  
た上で、さまざまな判断をする必要があります。場合によっては査定者として、職員の  
力量、個性、配属状況、チームワークの度合いなどを客観的に推し量り、適切な判断を  
する必要もあります。特に、難しい子どもを受けようかどうかの判断、受けた後の局面で  
の判断などは、問題が大きくなると、ひいてはホームの存続、職員の生活、そして何よ  
り子どもの人生に大きく関わるということ、色々な話を聞く中で強く感じました。こ  
のような機会を頂き、誠にありがとうございました。



## 平成 26 年度 女性スタッフ研修

月日：平成 26 年 7 月 14 日（月）～15 日（火）

会場：北海道札幌市「道特会館」

次第：

1 日目 講義 『正しい性知識について』

カレスサッポロ時計台記念病院 女性総合診療センター センター長 藤井 美穂氏

カレスサッポロ時計台記念クリニック 助産師 村田 美智子氏

2 日目 グループ討論（一日目の講義を受けて）

ホーム見学（シーズ南平岸 たんぼぼ苑 カーサ・デ・チップ）

---

 女性スタッフ  
 研修会報告
 

---

シーズ南平岸 屋代 通子

7 月 14 日、15 日の二日間「性知識を正しく知ろう！」との思いで、51 名の女性職員が全国から集まり、女性職員研修が行われました。札幌にしては妙に暑くなったのは、皆さんの熱気でしょうか。一日目は地元札幌で早くから思春期外来をされていた、産婦人科ドクターと助産師さんによる講座、二日目はグループ討議でした。



研修の後は、サッポロビール園でジンギスカン、その後も夜が更けるまで語り合い、全国の皆さんの底知れないパワーと情熱を実感しました。講師の方が、女性だった事もあり、内容が主に女子の性の問題だったので、今度は男子の性や、男子に性の情報を伝えるためのスキルを学びたいという声も起こりました。

普段、ホーム長研修などでは、なかなか聞かれない「女子集団ならではの悩み」等も、ざっくばらんに話題に出来て新鮮でした。

ところで、札幌市内の 3 ホームではいずれも女性ホーム長です。普段は日常業務に追われて、案外話す機会を持ってないのですが、研修を準備する為に密に連絡を取ったり、情報交換できたりした事が、思いもかけず嬉しい収穫でした。

カリヨンタやけ荘 近藤 秋穂

札幌女性研修一日目 女性総合診療センター所長と助産師の先生方を講師に迎え、専門的な立場から性非行、性に関する子どもの悩み、性病に関する知識についての講義を受けた。排卵日などのホルモンバランスの崩れる日には、女性は心身共に不安定になる事の説明や、避妊確率についての知識、アフターピルの働きと効用、また性病の症状についてなど、実際の患部写真を見るなどしながら、詳しくお話が聞けた。

中でも、婦人科受診時に同行するスタッフが、準備すべき事はとても参考になった。「月経」「排卵周期」「生理サイクル」を日頃から理解する事で、利用者本人にとってもスムーズで不安の少ない受診となるので、是非実践していきたいと思った。

二日目には、グループに分かれて討論をし、女性スタッフ同士、忌憚のない意見交換ができた。また、札幌のホーム見学にも伺う事ができ、充実した研修になった。



【ホーム長 紹介】このコーナーでは、全国のホーム長の素顔をご紹介します。

### みずきの家（神奈川県南足柄市） ホーム長 加藤さい

福祉の仕事に就いて、今年で27年目になります。  
知的障害児施設を皮切りに、その後、高齢者のヘルパー、身体障害者授産施設、知的障害者通勤寮、そして、自立援助ホーム（女子6名定員）に、たどり着きました。

そんな私が大事にし、他の職員にもお願いしている支援を紹介しましょう。第1が挨拶、第2が環境整備、第3が利用者に具体的な何かをしてあげる事です。共同生活なので、お互いに声を掛け合う事は、何より大事ですし、清潔で居心地の良い環境は生活の場に欠かせません。

そして、何があっても出勤時の見送りとお弁当作り、部屋の整理整頓や掃除の手伝いは欠かさないようにしています。「自立に向けた訓練」は、みずきの家に居る間はしない事にしています。

それでいいの？いいのです！「養之如春」これが我が家の家訓です。



ホーム長 紹介



### 鳥取スマイル（鳥取県鳥取市）ホーム長 田村 崇

全国の自立援助ホームの皆様、こんにちは。昨年度まで9年間続けてきた倉吉市関金町での「倉吉スマイル」から鳥取市へ引っ越し「鳥取スマイル」として、新たな自立援助ホーム運営のスタートを切らせていただきました。

今年10年目に突入しました。これまで、山あり谷ありの連続でしたが、何とかここまで生き延びてきた、というのが正直な実感です。では、なぜここまでこられたのか……。やっぱり全国に同じように悩み、苦しみ、そしてながきながら出会った子ども達と歩みを続けていらっしゃる同志がいるのだから！仲間がいっぱいいるのだから！そう思いながらやってこられたんだなあ、と実感しております。

時代の変化と共に、自立援助ホームも大切なものを継承しつつ、新たな時代へと変化していく事も求められます。このとても大切な時期を皆様と支え合いながら歩いて行けたらな、と思っています。もちろん、笑顔を絶やさずに。



## 全国自立援助ホーム協議会 第21回 高知大会

開催日：平成26年11月27日（木）～ 28日（金）

節目となった昨年の第20回東京大会から1年。

今年は日本の黎明期を牽引した、多くの偉人達の縁の地「高知県」で開催されます。奮ってご参加下さい。

お申し込み先：全国自立援助ホーム協議会 事務局

自立援助ホーム あすなる荘 恒松宛 FAX：042-492-8348

全国大会の  
お知らせ

### 【全国大会開催県（高知県）紹介】 自立援助ホーム南風 ホーム長 矢吹 富子

桂浜で皆様方を待っている坂本龍馬。

高知県の一番の魅力は「人」であり、家族のような温かさ。

だから「高知県は一つの大家族やき！」がキャッチフレーズです。

第21回高知大会では、黒潮がもたらす土佐の味覚の王様、タタキで良し、刺身で良しの「戻り鰹」をどうぞ！また、最近ジオパークで有名になった室戸の「金目鯛」、足摺岬の「清水サバ」ちょっとグロテスクだが、カラーゲンたっぷりの「ウツボのたたき」「チャンバラ」「長太郎」等の貝類。豊富な年間日照時間と冬でも暖かく、燦々と降り注ぐ太陽の恵みを受けた「トマト」に代表される高知野菜の濃厚なおいしさ。大きさ、味ともに女性に好評の「新高梨」秋に代表されるエレガントな味「水晶文旦」など絶品グルメが満載。

しっかり学んで、しっかり食べて、楽しく飲む。これが土佐の学びであり「高知家」流「お・も・て・な・し」です。是非御堪能下さい。

ホームページの  
お知らせ

～高知でまちゆうきね～



全国自立援助ホーム協議会のホームページが 生まれ変わりました



ホームページアドレス

<http://zenjienkyou.jp/>



全国の自立援助ホーム一覧 協議会の活動等をご覧いただけます。

### 【編集後記】 広報委員長 新井 秀親

毎年恒例の秋の全国大会が近付いてきました。知る人も少なくなりましたが、高知では10年以上前に全国大会を開催しております。その大会は今とは違い、僅かなホーム数の僅かな参加人数でした。あの時、誰がこの規模の大会を想像したことでしょう。自立援助ホームの理念を継承しつつ、訪れる新たな時代を築くため、多くの仲間と出会い、同じ土俵で語り合える場、それが全国大会の醍醐味です。土佐での出会いを楽しみにしております。